

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

再生・新生・共生

高田ロータリークラブ  
今年のスローガン

ロータリーを楽しもう！  
夢と誇りをもって



2022-2023年度

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

第2560地区ガバナー 高橋 秀樹

高田ロータリー会長 高橋 正彦

幹事 飯塚 宏佳

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL(025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：

齋藤俊幸・藤林陽三・出澤英則

第 39 回 6 月 23 日(金)

No.39

会長挨拶 ●高橋正彦



皆さんこんにちは。

二週に渡り、クラブ協議会各委員長様、大変ありがとうございました。

人生 100 年時代、という言葉をよく耳にしますが、ほとんどの人は 100 歳まで生きることが出来ないと思いますが、100 歳まで生きられる人というのは、あくまでも健康に気を使い、良い生活習慣を送った上で進歩した医療などを受けられて、健康寿命を延ばせた人かもしれません。健康寿命を延ばすためには、まず運動不足を改善する、孤独の改善、一番は睡眠不足の改善だと言われています。

よく健康のために運動してくださいと言われてますが、なかなか毎日、運動をする習慣がないのが、多いようです。そして、意外なのは孤独と健康には関係があると思

いますが、孤独が健康に与える悪影響は大きいようです。孤独というのは人によって感じ方が異なりますが、孤独を感じる人は、正常な人と比べて死亡率が3倍近く上り、うつ病、自殺念慮など、メンタルに対しても甚大な影響を及ぼすようです。一番は睡眠不足のようです。睡眠時間が6時間未満の人は、がん、脳卒中、心筋梗塞など、多くの病気を発症するリスクが高いようです。健康と寿命を守るには、7時間以上の睡眠・つながりを大切にする生活・毎日20分の早歩きを実践してみてください。つながりを大切にする生活は、ロータリーが一番かもしれません、みんなで長生きしましょう。

本日の卓話は、小林古径記念美術館学芸員の市川高子様です。演題は「雪国に生まれた、ぬくもりのやきもの 陶芸家 齋藤三郎の魅力」です。今年度最後の卓話です。ご清聴お願いします。

出席報告

出席率 98.00%

メイクアップ

本山秀樹君 (6/22 糸魚川 RC)  
高橋正彦君・飯塚宏佳君・東野秀和君・川上裕一君・  
笹川 裕君・西山要耕君 (6/22 高田 RAC 最終例会・  
次年度顔合わせ会)

ビジター・お客様スピーチ



草野健斗君 (高田 RAC)

## 第七分区ガバナー補佐 本山秀樹様 ご挨拶



### ニコニコ BOX 紹介

本山秀樹君：高田ロータリークラブの温かいご支援、ご協力により無事一年間第7分区ガバナー補佐を務めることが出来ました。会員皆様に感謝申し上げます。

吉田 巧君：この度、6月19日付けで上越信用金庫の非常勤理事を務めさせて頂くこととなりました。地域社会に益々貢献して参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

S A A：出席数と食事が（一致しました。フードロスなしです。）は、次年度に期待致します。

## 幹事報告

配布物：会報No.38、映画「みんな生きている」チラシ

回覧物：上越教育大学後援会振興協力会パンフ

## 卓話

### 「雪国に生まれた、ぬくもりのやきもの 陶芸家・齋藤三郎の魅力」



小林古径記念美術館学芸員 市川高子様

「隠れたままの日本の陶芸家」、これは昭和56年7月22日に新潟日報に掲載された、坂口謹一郎（応用微生物学者）の言葉です。齋藤三郎が7月17日に68歳で亡くなり、交流があった坂口謹一郎が齋藤の死を悼んで文章を書きました。「一流の人なのに、どうしてこの北越の地に無名のまま埋もれてしまったのか」と嘆きながら、「良寛がそうであったように、時代がたてばたつほど齋藤さんの真価は光ってくるだろう」と、良寛を引き合いに出しながら、文章を結んでいます。

齋藤三郎（号・初代陶齋）は、大正2年に栃尾町に生まれました。刈谷田川の水害で親を亡くし、兄・泰三が親代わりでした。その兄に勧められ作陶の道に入ります。近藤悠三・富本憲吉という2人の優れた師に学び、確かな技術を身に付けました。昭和18年に出征、3年後に復員すると、兄が住職をしていた高田市寺町の久昌寺に身を寄せます。その後、寺の裏に登り窯を築き、作陶を始めました。戦後の苦しい時代、色鮮やかな齋藤のやきものは人々の心を慰めました。30年以上の長きにわたり高田で作陶を続け、中央の公募展には出品せず、個展で作品を発表し続けました。その伝統は2代陶齋・齋藤尚明氏に受け継がれています。

小林古径記念美術館では、7月15日より「生誕110年 齋藤三郎展」を開催します。修業時代の作品から高田築窯を経て、晩年までの作品をたどります。色絵、白磁、辰砂、染付など、技法も器種も多彩な齋藤芸術に親しんで下さい。

## 7月の例会プログラム

例会日	プログラム	会場
7月7日	クラブ協議会 ①	デュオ・セレッソ
7月14日	クラブ協議会 ②	デュオ・セレッソ
7月21日	祝日振替休会日	
7月28日	卓話 JAXA 宇宙科学研究所 名誉教授 早川 基 様 演題 未定	デュオ・セレッソ